公益社団法人 新潟県作業療法士会

認知症作業療法 活動報告(概要)

新潟県作業療法士会では、認知症初期集中支援チーム、認知症予防事業、認知症カフェ、認知症サポーター養成講座などに参加している。市町村、地域包括支援センターなどから依頼を受けサポーター養成講座、認知症カフェなどを中心に活動を行なっている。各施設・事業所、個人への依頼が多く、正確な実施数の把握はできない。現在県内を7ブロック、41支部に分け情報収集に努めている。

2020年度は、経験の浅い会員のスキルアップを目的として、臨床場面における認知症対象者へのアセスメント・介入の思考展開、若手作業療法士の取り組みについてのスーパービジョンを実施した。また、地域で活躍できる作業療法士の発掘を目的に、オンデマンド研修を実施し、認知症アップデート研修、地域ケア個別会議における認知症事例の考え方等を実施し好評を得た。

認知症予防事業

市町村、地域包括支援センターなどから介護予防活動として依頼を受け、地域の集いの場やサロンなどで認知症予防教室などを実施している。内容は、地域住民に対して、認知症の理解と予防に関する講話、体操などを行っている。コロナ禍において、今まで実施していた認知症予防の内容をDVDに作成し、集いの場に配布した事業所の報告を受けている。



■ 認知症カフェ事業

市町村、運営ボランティア団体や地域包括支援センターからの依頼、情報提供を受け、各地区で認知症カフェに参加しており、認知症理解のためのミニ講話や予防講話・体操、家族の介護相談など行っている。コロナ禍の影響を受け事業を中止している場合も多かった。2,020年度の実施報告は3地区(延べ16回)と昨年度よりも激減した。



図知症初期集中支援事業

主に認知症疾患医療センターの事業として県内の数施設で初期集中支援事業の実施しているが、OTの参加状況、頻度、内容などについては情報把握が難しい状況がある。2020年度の実施報告は3地区(延べ12回/年)で昨年度よりも減少した。

■ 2021年度の認知症研修

コロナ禍の影響を考慮し、web研修を主として実施予定。昨年度実施したオンデマンド配信は子育て世代や普段参加できない作業療法士から好評であった。今年度はオンデマンド配信をによる認知症アップデート研修の体制整備を実施していく。加えて県内7ブロックでの勉強会への資料提供等を行い、認知症に関わる作業療法士の数の拡大と質の保証を行う予定。

今後の展開

- ・県士会におけるwebを活用した認知症アップデート研修、応用研修の仕組みづくり
- ・コロナ禍における情報収集と課題整理の実施
- ・ブロック体制による地域ネットワーク整備と活動状況把握、フォローアップの実施